

S.F.A.通信 第22号

(和歌山県漁業士連絡協議会報)

平成29年10月

発行：和歌山県漁業士連絡協議会

S.F.A. (=Senior Fishery Adviser、漁業士)

漁業士

将来の中核的漁業者として期待される漁業者や、優れた漁業経営を行い指導的役割を果たしている漁業者をそれぞれ「青年漁業士」、「指導漁業士」と県が認定し、現在119名（平成29年2月）の漁業士が地域産業の担い手として活躍しています。

和歌山県漁業士連絡協議会

漁業士相互の交流や資質向上、連絡調整を目的に平成元年に発足した和歌山県内の漁業士で構成される組織です。

年1回の総会のほか、他県漁業士との交流会、魚食普及活動、部会単位での会合などを通じて、お互いの情報交換や親睦を図っています。

～通常総会開催～

平成29年7月15日（土）和歌山県水産試験場において、平成29年度通常総会を開催し、県下各地域から漁業士25名が出席しました。

通常総会では、平成28年度の事業報告、平成29年度事業計画について説明があり、新たな取組として、6月には「高知県・徳島県・和歌山県3県漁業士交流会準備会」を開催し、2年に1回の持ち回り（来年度、高知県において開催予定）で、3県交流会を立ち上げる運びとなった報告をしました。

また、昨年の総会で承認された婚活イベントを今期実施する予定であり、独身漁業士に向けて参加を呼びかけました。

続いて、今年度の役員改選では、下記のとおり新執行部が選出されました。

旧		新	
会長	塩谷 昇（紀州日高漁協）	会長	塩谷 昇（紀州日高漁協）
副会長	松村 よう子（紀州日高漁協）	副会長	松村 よう子（紀州日高漁協）
監事	榎本 睦也（和歌山南漁協）	副会長	宮崎 正（有田箕島漁協）
会計	高井 宏（和歌浦漁協）	監事	榎本 睦也（和歌山南漁協）
理事	山崎 晃（和歌山東漁協）	会計	濱本 浩（和歌山南漁協）
理事	濱本 浩（和歌山南漁協）	理事	山崎 晃（和歌山東漁協）
理事	宮崎 正（有田箕島漁協）		

（任期：平成29年7月15日～平成31年7月15日まで）

※婚活イベントは、11月25日（土）に開催が決定し、会員の皆様には案内文書を送付しております。

他にも和歌山東漁業協同組合所属の寺町忠指導漁業士（漁業士会2代目会長）が、今年度をもって、失効年齢に達するため、記念品贈呈が行われました。

総会終了後の研修会では、株式会社ウエカツ水産の上田勝彦氏を講師に迎え、「高鮮度出荷の知識と技術～その狙いと課題～」をテーマに講演いただいた後、野外会場へ移動し、マダイ・イサキ・カンパチ・クエ・ハモ・アジを用いて、魚の締め方について実演、実技指導が行われました。参加された漁業士の方々は日々の活動に役立てようと、熱心に聞き入り、指導を受けていました。



▲総会の様子



▲記念品贈呈の様子



▲実演の様子



▲実技指導の様子

～漁民の森の下草刈り～

平成27年2月21日串本町田並において植樹した苗の保育のため、下草刈りを南紀森林組合へ委託し、実施しました。

来年度は、漁業士による下草刈りを実施する予定です。

【作業完了日】 平成29年8月12日

【面積（ha）】 0.57



▲着手前



▲着手後

工事名	平成29年度 南紀森林組合全整備事業
場所	串本町田並上字田之郷 460番地
	尾崎 隆美
下刈り（藪子刈）	
日付	7月31日

工事名	平成29年度 森林整備保全整備事業
場所	串本町田並上字田之郷 460番地
	尾崎 隆美
下刈り	（完 成）
日付	8月14日

◆◆◆ われら漁業士 ◆◆◆

若い人を漁業の担い手に

和歌山東漁業協同組合須江支所
指導漁業士 芝 秀紀

平成29年2月に指導漁業士に認定されました芝です。

私の家では、祖父の代から50年以上に渡って串本町須江で養殖業を営んでおり、私も若い時から養殖業に携わってきました。最初はハマチ養殖から始まり、その後マダイ養殖に切り替え、最近クロマグロの養殖を行っています。マグロ養殖では、毎日魚の様子を見ながら餌の量や給餌間隔を調整する必要があるなど、経験に頼る作業が多い仕事です。

須江地区では、以前はケンケン漁やエビ網、採貝漁業などが盛んでしたが、最近漁獲量が落ち込んでいます。地域では、資源を守るために網の枚数を制限したり、禁漁期間を設けるなど、独自の取り組みも行っていきます。

私はこの2月に青年漁業士から指導漁業士になりましたが、周りは先輩方ばかりです。もっと若い人に漁師になってもらい、須江地区の漁業を盛り上げてほしいと考えています。養殖業では、若い人を雇う機会もありますので、若者が漁業の魅力を感じ、養殖だけでなく、自分のやりたい漁業にも挑戦できるよう、他地域の漁業士とも連携しながら、担い手の育成にも取り組んでいきたいと思っております。



▲養殖筏が並ぶ須江の漁場

浜便り ～北から南から～

和歌山南漁協湊浦支所女性部による漁協食堂の営業

西牟婁振興局 山根普及指導員

和歌山南漁協湊浦支所荷捌き所にあったプレハブを厨房に改修して、平成29年3月4日に生しらす丼を看板メニューとした食堂がオープンしました。毎週土曜日に湊浦支所女性部が運営しています。湊浦地区には、地元で「小曳」と呼ばれる無動力漁船を用いた独特のひき網で漁獲するシラスがあります。これがこの地域のブランドであり、この地域でシラスをメインとした食堂を開店するきっかけとなりました。

当初、シラスだけで本当にお客さんが来てくれるのかという心配の声が多かったものの、オープン初日には300人以上、半年経過した現在でも100名近い方が訪れています。

当然、季節や天候の問題でシラスの水揚げがない日もありますが、そういう日には、食堂を開店するにあたって導入した液体凍結機で急速凍結したシラスを使っています。この急速冷凍したシラスは、凍結解凍による品質低下が少なく、お客様に生しらすの美味しさを感じてもらえています。生しらす丼以外に釜揚げシラス丼や状況に応じてマグロ丼なども提供しています。この他、女性部の手作りサンマ寿司も販売しています。

今年の営業は11月25日までですが、今後も地域・漁業の活性化のために営業が続くことを期待しています。



▲食堂の様子



▲ハーフ丼（釜揚げシラス+生しらす）

お問い合わせ先 和歌山県漁業士連絡協議会事務局
和歌山県漁業協同組合連合会 総務指導課 橋爪
TEL 073-431-5101 FAX 073-422-1137
E-mail wk-shido@wkgyoren.jf-net.ne.jp